

2005 年 3 月 9 日

「S G ロシア東欧株ファンド」取扱い開始

楽天グループのインターネット・トレーディング専門の証券会社、楽天証券株式会社（代表取締役社長：國重惇史、本社：東京都港区）は、BRICs 関連の投資信託商品ラインナップを拡張いたします。

今回取扱いを開始する商品は、ソシエテジェネラルアセットマネジメントの「S G ロシア東欧株ファンド」です。弊社取扱いの BRICs 諸国に投資するファンドとして、「中国」「インド」に続くラインナップとなります。

BRICs とは経済成長が著しいブラジル(Brazil)、ロシア(Russia)、インド(India)、中国(China)の頭文字をつなげた造語で、BRICs4 カ国の経済成長が現在のペースで続くと、世界経済の地図が大きく塗り変わるという予測もあります。

「S G ロシア東欧株ファンド」ではロシア・東欧諸国の市場に上場している株式やDR（預託証券）を中心に、ロシア・東欧諸国で事業展開をおこなう企業を主要な投資対象としています。運用はエマージング株式運用のスペシャリストである、ソシエテジェネラルアセットマネジメント UK（ロンドン）がおこないます。原則として円に対する為替ヘッジはおこないません。

本ファンドの目論見書ご請求の受付けは 3 月 11 日より開始いたします。

■ ファンドのお申し込みについて

目論見書ご請求受付け：2005 年 3 月 11 日（金） ～
当初募集期間：2005 年 3 月 16 日（水） ～ 3 月 29 日（火）15：00 まで
設定日：2005 年 3 月 31 日（木）

■ プレゼントキャンペーン

また、「S G ロシア東欧株ファンド」の目論見書をご請求いただいた方のなかから先着で 1,000 名様にオリジナル携帯クリーナーをプレゼントいたします。

■ 楽天証券で世界に投資

弊社では、BRICs 関連投信として、三井住友アセットマネジメントの「ニュー・チャイナ・ファンド」、UFJ パートナース投信の「チャイナオープン」、HSBC アセットマネジメントの「HSBC インド・オープン」などを取り扱っており、徐々に人気を集めています。

また弊社では、ネット証券における外国株取引サービスのパイオニアとして、1999 年 12 月より米国株（557 銘柄）、2003 年 2 月より中国株（178 銘柄）の取引を提供しております。

なかでも米国株サービスにおいては、積極的にニューヨーク市場および NASDAQ 市場に上場する ADR（米国預託証券）を取扱っており（69 銘柄）、これらを通じて世界各国の個別銘柄に投資することができます。

英国、フランス、ドイツ、スペインなど欧州銘柄のみならず、インド 4 銘柄、ロシア 5 銘柄、ブラジル 3 銘柄、南アフリカ 4 銘柄など新興国銘柄も取扱い、BRICs4 カ国の個別銘柄への投資が可能です。

楽天証券は、1999 年 3 月に設立された日本で最初のインターネット取引専門の証券会社です。楽天株式会社(96.7%)と三井住友銀行(3.3%)が株主となっています。